

交通事故で困ったとき、ご相談ください

交通事故相談所



「車社会」の中で生活している私たちにとって交通事故は、予期せぬと
きに発生します。もし、交通事故に巻
き込まれたらどうすればいいか、日
頃から考えておく必要があります。
損害賠償などさまざまなことにつ
いて双方の主張がぐいちがっていた

り、無理難題を言われ
たりする場合などは、経済的にも精
神的にも大きな負担となることがあ
ります。滋賀県ではそのようなこと
でお困りの方に「交通事故相談」を
実施しています。お気軽にご相談く
ださい。

相談窓口

◆滋賀県立交通事故相談所

大津本所(県庁別館内)

大津市京町四丁目1番1号

☎077-528-3425

・窓口相談：月曜日から金曜日まで

・電話相談：月曜日から金曜日まで

彦根分室(湖東合同庁舎内)

彦根市元町4番1号

☎0749-127-2230

・窓口相談：火曜日・木曜日

・電話相談：月曜日から金曜日まで

相談時間

午前9時から午後4時まで

(土・日・祝日は休み)

相談は無料です。

◆問い合わせ先 住民課

生活環境交通担当

☎6578

有線⑤7784

※東近江合同庁舎(東近江市
緑町)でも相談員が出向き、
相談を実施しています。
その場合は、事前予約が必
要となりますので、相談日
など事前に、上記の各交通
事故相談所に電話で予約し
てください。

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

麦の穂が6月
の風に静かにゆ
れています。緑
に囲まれた熊野
地区の棚田では
稲の苗がすくす
くと成長してい
ます。5月9日
「棚田ボラnte

イア」には名古屋の家族連れ、京
都の女子大生、熟年夫婦など約30
名が参加。棚田は、漏水のないよ
うにきれいに畦塗りがされ、田面
は鏡の如く均平代掻き。見事です。
「農の巧」の橋本さんの「苗は3本
くらい、深植えはあかん」との指
導を受け、イザ田圃へ。素足の人は、
「あつ、冷たい」「いやあ、ヌルヌル
するワ」と初めての感触を経験、
やがて行儀よくお尻を並べ「なか
なか真っ直ぐ植わらへんなあ」「蛭
にかまれた」と言いながら後ずさ
りで植えていきます。歩行型の田
植機も体験して昼には完了。泥の
ついた顔が満足げにほころんでい
ました。みんなで協力して汗をか
いて仕事することは素晴らしい
こと。農作業は水利を含め集落の
団結が必要です。棚田にはそうし

た歴史が刻まれています。
米が生活や経済の中心であった
時代、米価は社会に大きな影響を
及ぼしました。1918年(大正
7年)米騒動では内閣が退陣して
います。その1918年スペイン
風邪が大流行。日本では(流行性)
感冒と呼ばれ、世界中で4000
万人、日本で39万人が亡くなりま
した。我が家でも1か月の間に家
族の内4人が死亡、一度に4人の
葬式をだしたと聞いています。こ
うした悲劇を繰り返さないために
万全を期さなければなりません。

憲法25条2項には、「国はすべて
の生活部面について、社会福祉、
社会保障及び公衆衛生の向上及び
増進に努めなければならない」と
あります。公衆衛生とは「公(おお
やけ)の衆(ひとびとの)生(いの
ち)を衛(まもる)」という意味で
あり国の責務です。100年に一
度の新型インフルエンザも経済危
機も国や自治体の果たす役割は重
要です。「市場経済に任せておけば
いい」という「神話」が崩れた今、
人々の暮らしや社会をしっかりと
支える政治や行政に再構築するこ
とが必要だと思えます。